

講師:めぐみ在宅クリニック

院長 小澤 竹俊



NHKプロフェッショナル仕事の流儀

「わが家で穏やかに、最後を導く

～訪問診療・小澤竹俊～」出演。

1963年東京生まれ。

1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。2000年より、学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始。2015年4月、一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会設立。

＊お願い＊

COVID-19 感染拡大状況によっては、小澤先生の講義がリモートにて行われる可能性がある事をご承知おきください。

主催:

ELC援助者養成基礎講座in上越実行委員会

問い合わせ先:

揚石医院内科小児科循環器科

TEL: 0255-70-1155

後援:

上越市・妙高市・上越医師会・新潟県医師会・新潟県看護協会・新潟県介護支援専門員協会・新潟県社会福祉士会・新潟県介護福祉士会・上越歯科医師会・上越薬剤師会・新潟県薬剤師会・新潟県理学療法士会・新潟県作業療法士会

エンドオブライフ・ケア援助者養成 基礎講座 in 上越

～ 人生の最終段階(エンドオブライフ)を
ケアできる人材の育成プログラム ～

◆日程:令和3年1月9日(土)・10日(日) 二日間

1日目 10:00-18:30 受付 9:30～

2日目 10:00-18:00 (2日目:9:00～補講予定あり)

◆会場:シエ・トヤ

上越市大字藤野新田 433-2 tel.:025-544-1083

◆対象:医療・介護・福祉職、行政職、ボランティア

◆定員:80名 事前申込み (11月2日 申し込み開始)

※詳細は裏面をご参照ください。

◆受講料:10,000円 (テキスト代・二日分の昼食弁当代含む)

看取りへの「苦手意識」から「関わる自信」へ

人生の最終段階にある人やその家族と関わる事を苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなり、やがて旅立っていく人と、どのように関わってよいかわからない援助者が、自信を持って支援できるようになることを目的として、この講座は企画されました。

解決が困難な苦しみを抱えた人に接しても、“援助を言葉にする”ことで、医療・介護の仕事を問わず、一人ひとりが自信を持って人生の最終段階にある人と関われるようになることを目指します。

人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識のほか、エンドオブライフ・ケアの中でも特に難しいとされるスピリチュアルペインに対するケアについて、1対1での対応方法から多職種連携で行う支援方法まで学びます。

この研修により、看取り期だけでなく、対人援助に関わるあらゆる職種に共通する基本理念を身に付けることができ、地域での在宅医療・介護の連携推進や高齢者/障害者ケアのレベルアップにつながると考えます。